



熊本県版

No. 232

治安維持法犠牲者
国家賠償要求同盟

熊本県本部

〒862-0954

熊本市中央区神水

1-30-7 コモン神水

☎096-381-1807

国賠同盟天草支部と「千代の会」結成へ

国賠同盟県本部の呼びかけに依って国賠同盟天草支部の結成と、映画「わが青春つきるともー伊藤千代子の生涯」の天草市での上映に向け準備を進めてきた天草市の国賠同盟員は8月12日、小田憲郎県本部会長をまじえて最終の準備会をひらき、中山健二、緒方徹治、浪床一男、蓑田庸子、田中一郎の5人の同盟員が参加しました。

天草市と上天草市には現在10人の国賠同盟員がいますが、それぞれが個別に県本部とつながっていて、地域での運動はありませんでした。県本部では一昨年の県本部総会以来、菊池地域とともに天草地域での支部結成を目指して関係者と相談を重ね、映画『伊藤千代子』の製作・上映運動と結合して支部結成を追求してきました。

運動の基本

- 一、 果たたび戦争と暗黒政治を許さないために
- 二、 治安維持法体制の復活に反対する。
- 三、 国は戦前の治安維持法が人道に反する悪法であることを認めること。
- 三、 国は、治安維持法の犠牲者に謝罪と賠償を行うこと。

この日の準備会では、香港国家安全維持法による香港の民衆運動弾圧に対し日本国内でも中国共産党と政府に対する厳しい糾弾の声が広がっているが、香港の実態は決して対岸の火事ではない、香港国家安全維持法は戦前の日本の治安維持法とより二つであり、安倍・菅政権の下で治安維持法の内容は、秘密保護法、共謀罪法、盗聴法、戦争法、マイナンバー制度(国民総背番号制度)、重要土地利用規制法など様々な形ですでに復活してきており、香港の現実がいつ日本の国民の身に降りかかってくるかわからない、このことの危険性を組織の任務として真正面からとらえ、国民に訴え闘っている組織は治安維持法国賠同盟しかないことなどが議論され、天草でその運動を自主的に進める組織として治安維持法国賠同盟の支部を10月に結成することを確認しました。



中央が野中地区委員長、右、小田県本部会長、左、遠山八代支部長

国賠同盟本部の小田憲郎会長は8月8日(日)、8月22日告示、29日投票の八代市議会議員選挙勝利をめぐり奮闘している国賠同盟会員の橋本徳一郎候補(現・日本共産党)の事務所を訪ね、「祈必勝」の幟文を贈るとともに、懇談しました。

国賠同盟中央本部は、「2020年代を治安維持法体制に決着をつける年代」にするために選挙戦にも積極的に取り組むという方針を打ち出しています。国賠同盟が毎年国会に提出している「国会請願」が採択され、治安維持法犠牲者への謝罪と賠償を実現するためには国会議員の過半数の賛成が必要です。つまり、国賠同盟の国会請願3要求に賛同する議員を増やさなければなりません。

また、地方議会から国に「治安維持法犠牲者への謝罪、賠償等を求める意見書」を提出し、国を地方から包囲していくために国賠同盟の国会請願3要求に賛同する地方議員を増やさなければなりません。

橋本徳一郎議員は宣伝活動のため不在でしたが、懇談には野中重男地区委員長のほか国賠同盟の遠山直毅八代支部長、田添眞二支部員らが参加しました。

また、伊藤千代子は1928年3月15日の日本共産党に対する治安維持法による最初の大弾圧(3・15事件)で犠牲となった女性共産党員第一号でした。代用教員として勤めた小学校で家が貧しく弁当を持ってこれない児童に自分の弁当を分けあたえながら、どんなに貧しい家庭でもきちんと食事ができるように社会にしたいと願った優しい女先生、ペーベルの『婦人論』をよんで感動し、「女の人が目覚める時、男子の催眠術から、そして自己の自己に対する催眠術から目覚める時、どんなにすばらしい世の中が展かれてくるでしょう」とジェンダー平等の社会の実現をめざした伊藤千代子の生涯を知るとは、千代子を獄死に追いやめた治安維持法というものがいかに非人間的で過酷な悪法であったかをまなび、治安維持法の息を吹き返させようとする安倍・菅政治を倒し、新しい野党連合政権を実現するたまたかの力になることを確認しました。

この日の準備会では、上映運動は国賠同盟員が中心になって奮闘することは当然ですが、これまでの文化運動や民主運動などで結びつきのある多くの人に参加してもらうため、会の名前は「千代子の会」とすることになりました。

(小田憲郎)



「精一杯演じたい」と決意を述べた井上百合子さん

映画「わが青春つぎるともー伊藤千代子の生涯」最新情報

新型コロナウイルス感染拡大最中の製作運動、全国草の根の運動で制作資金も3000口(1口10万円)に迫る勢いです。この運動の特徴は製作協力運動が自主上映権とセットとなり、私たちが製作運動を担うことを特徴としています。

ご存じのように主演キャスト、主な出演俳優は決まり、10月撮影開始、来春3月15日(千代子が3・15事件で特高に検挙された日)試写会、5月全国公開を目指しています。

映画製作準備は、6月に原作者監督による出演者俳優の学習会、7月に千代子主演者の千代子墓参ロケ地訪問、現地歓迎会と着々と進んでいます。

桂監督はこの映画にかける思いを「伊藤千代子が戦前、人々の幸せのために青春を燃焼させ、治安維持法弾圧と長期の獄中生活の中で、地しばりの花に寄せて命がけでたまたかう決意を込めて生きた、その姿を今日の若者たちに届けたい」と語っています。

制作・上映運動へのご協力を!

スリランブル交差点(話題を追って)

入管体制は現代の治安維持法体制だ

閉ざされた空間の中の痛ましい事件が明るみに出ました。

今年3月、名古屋出入国在留管理局の収容施設でスリランカ国籍のウイシユマさんが死亡しました。ウイシユマさんは、「留学」資格で入国、学費が払えず退学、その後不法残留となり、名古屋入管施設に昨年8月に収容されました。わずか半年の密室でのこと、管理局の調査報告がでしたが、真相解明にはほど遠く、改善策も本質的な解決策ではありません。遺族が求めた開示要求にはほぼ黒塗りの書面を開示し一部開示した監視カメラの記録は衝撃的なものでした。わずか半年で20キロもやせてしまい、ベッドから落ち、自力で起き上がれないのに、来た職員はそのまま放置する。コーヒート牛乳も飲めないくらい弱っているのに鼻からコーヒートと椰掬するなど人権無視もはなはだしい対応です。死亡当日は朝から反応も弱く血圧、脈拍が測定できないくらいなのにそのままにし、午後反応しなくなっただけから救急車を呼んで、搬送先で死亡が確認されています。

なぜこんな非人間的な施設が現代の日本にあるのでしょうか。日本の入管制度がそもそも憲法の基本的人権、国際法の人権規約

の届かないところにあるからです。

日本の入管体制の体質には歴史的背景があります。戦前の入管体制は治安維持に重きを置いていて、主体は内務省、なかでも警察でありました。治安維持法体制の時代には特高警察が担い、特高部の下に「外事課」、「内鮮課」がおかれ、敗戦まで差別と人権抑圧の限りをしてきました。

戦後、特高警察は解体され、公職追放されましたが、多くの関係者は追放を免れています。そうした人が戦後の初めから出入国管理業務に引き続き携わったようです。調査した国際法学者の大沼保昭氏によれば、入管業務従事者と周辺のかかなりの部分が旧特高関係者で占められ、とりわけ在日朝鮮人らに対する強い偏見や差別観を持ち、対象者に対してはつねに公安的な発想で接していたといえます。この体質が今日まで続いていると考えて間違いないでしょう。

戦前、治安維持法犠牲者は拷問の末、未決の留置所にいつまでも生殺しのように劣悪な環境に捨て置かれました。今日、違法滞在とされた人々が異議申し立てをしても裁判ではなく、法務省の外局である出入国在留管理庁の中で審査・決定され、収容者の声は外になかなか届きません。この閉鎖性と人権感覚のなさばかりの治安維持法体制と少しも変わらないと思います。(関根 隆)

【抵抗の群像】

「西里竜夫の壮絶な半生」

連載にあたって

治安維持法同盟熊本本部の結成呼びかけ人で初代会長の西里竜夫さん(一九〇七〜一九八七)が亡くなってはや三四年になります。

同盟員の中にはご存じない方もおられるかもしれませんが。またご存じの方でも、あの温厚で優しいお人柄の西里竜夫さんが、戦前、中国大陸で、日本帝国主義の中国侵略に反対する命がけの反戦闘争を展開し、特高に二度も逮捕、投獄、拷問されながら非転向を貫き、日本の敗戦によってかろうじて死刑判決を免れたという壮絶な経歴を持っていたということとはあまりご存じないかもしれません。

そこで、西里さんの戦前の闘いについて西里さん自身の著書『革命の上海で』をもとに今号から何回かに分けてご紹介したいと思います。

なお、本文では敬称は省略させていただきます。

(国賠同盟熊本本部会長 小田憲郎)

日中戦争の渦中、

上海で命をかけた反戦闘争

― 西里竜夫の壮絶な半生 ―

小田憲郎



はじめに

戦前、熊本県から上海の東亜同文書院に派遣された学生は多い。卒業生の多くは日本の大陸進出をになう人材として中

全国各地分野で働いた。しかし何人かは日本帝国主義の中国と中国人民に対する理不尽な仕打ちに疑問、怒りを感じ、中国人民とともに日本帝国主義の中国侵略に反対する活動に挺身した。第二六期生、一九三〇（昭和五）年卒の西里竜夫もその一人であり、第二八期の浜津良勝（人吉市出身）もそうである。

本稿では、東亜同文書院入学の昭和初年から一九四二（昭和一七）年の二度目の逮捕、四五（昭和二〇）年七月治安維持法違反並びに外患罪により死刑を求刑され、判決直前に敗戦となって辛うじて死刑判決を免れ、死地を脱するまでの約二〇年間、新聞記者として激動の上海や南京を舞台に日本帝国主義の中国侵略に反対し、真の日中友好のため命をかけて反戦活動を展開した西里竜夫の激動の半生を追った。

なお、西里はジャーナリストとして文筆にたけ、自らの半生についても『革命の上海で』『風雪のうた』などすぐれた記録を残している。今や絶版となつて殆んど見ることができないそれらをベースに、西里の上海、南京を中心とした中国における反戦活動について述べる。

あこがれの大陸へ

「狭い日本にや、住み飽いた

支那にや、四億の民が待つ……」



清々豊時代の竜夫（後列右はし）

一九二六（大正一五）年四月、熊本の中学済々豊を卒業した西里竜夫は、当時はやっていたこのような歌にそのかされるように広い大陸にあこがれ、何かそこに虹色の未来が待っているかのような思いで上海の東亜同文書院に入学した。

「私たち第二六期の新入学生は、東京に集結し、当時

ではなかった。

「犬と支那人は這入るべからず」

当時上海は「国際都市上海」と言われ、日本をふくむ帝国主義列強が進出し、港にはイギリス、フランス、アメリカ、日本などの軍艦がずらりと浮かび、艦上高く国旗を掲げ、鈍く光る不気味な砲門を上海の街にさしむけ、中国人を威圧していた。

また当時の上海には外国の「租界」があった。多いときにはイギリス、フランスなど八カ国二七か所の租界があった（『広辞苑』）。そこは中国の支配権の及ばない治外法権の地区で、その中にある公園の入口には「犬と支那人は這入るべからず」という石柱が立っていた。西里はその著書で、「租界を支配していた外国人は中国人を犬と同列にししか考えていなかったのである」（同一五頁）と糾弾している。

うち続く軍閥混戦

一方で当時中国では、それぞれに外国列強の支援を受けた軍閥が入り乱れ、国の、あるいは地域の支配権を争って内戦を長年にわたって繰り返していた。

西里が中国に渡った時、その二年前に始まった第二次奉天戦争（奉天派と直隸派の戦争）のさなかであった。奉天派と

の院長であった公爵近衛文麿の訓辞をうけ、同期生一二〇余名が打ちそろって、大陸に渡った。学生は各県からの派遣生と満鉄その他大商社からの派遣生などで、みんなが若く、まだ見ぬ大陸への夢に、胸をふくらませながら故国を離れた。（『革命の上海で』一二頁）

長崎港から二〇数時間の航海のち上海の港でまず西里の目に飛び込んできたのは「仁丹」の巨大看板であり、林立する日本やイギリスなど外国資本の紡績工場であった。屋上には日章旗やユニオンジャック（イギリス国旗）が誇らしげにはためいていた。

下船して波止場で見えたものはさらに衝撃的であった。

「波止場には、大勢の碼頭苦力（波止場人足）が、ロボロに破れた褲子（ズボン）をスネの上までまくりあげ、ワラジを穿き、裸になった上半身を泥とあぶら汗にギラギラ光らせながら荷降しをしていた。竹製の天びん棒で大きな荷物をかつぎながら掛けあうその掛け声が、「エーホー、エーホウ」と呻くように聞こえてくる。それを外国人の監督がムチで容赦なくひっぱたきながら使役していた。ピシツという音がする度に、苦力の顔が苦痛にゆがむ。」（同一三、一四頁）

そこは西里たちが夢みていたような「平和な桃源の里」

いうのは奉天軍閥のことで総帥は張作霖。奉天をはじめ中国東北部（満州）に勢力圏を張っていた日本軍部の支援を受けていた。一方、直隸派は清朝の首都北京を中心とする軍閥で総帥は呉佩孚。呉の背後にはイギリスがついていた。その戦争のさなか、直隸派の軍閥馮玉祥が日本軍部の支援を受けて北京でクーデターを起した。そのため呉佩孚は敗退し、それに乗じて張作霖軍は一時、華北から華中へ勢力を伸ばした。

これに脅威を受けたのが、浙江省の督軍（地方軍政長官）、直隸系の軍閥孫伝芳で、孫は呉佩孚と組んで反奉戦争を起した。孫はイギリスとアメリカの支援を受けていた。そこに直隸派の軍閥馮玉祥が、こんどは孫・呉に呼応して、張作霖軍に攻撃を開始した。

張作霖軍は窮地に追い込まれた。さらにその窮地に乘ずるようにならなると、郭松齢が張作霖に反旗をひるがえし、大軍を率いて奉天に向って進撃を開始した。

張作霖の完全敗退は、満州における日本帝国主義の権益が危機にさらされることになる。日本は公然と干渉に乗り出した。関東軍を奉天周辺に集結させるとともに、張作霖軍に武器弾薬を送り、資金も提供した。同時に、張作霖・郭松齢両軍に対して「満鉄付属地周辺での一切の軍事行動を禁止する」と通告した。このため郭松齢軍は進撃を阻まれ、郭は捕えられ、処刑された。

郭松齢の反乱を契機に、奉直両軍は妥協し、こんどは共産主義の脅威から華北の安寧を守るとの口実で、「反赤連合」をつくり、共同して馮玉祥の国民軍にたいして攻撃を開始した。

というのは、当時馮玉祥が、広東にあった孫文の北上を要請し、「国民軍」と称してその地盤の拡張をはかっていたからであった。

この国民軍に対して、華北の塘沽タンクイにいた日本軍は砲撃を加えて打撃をあたえると同時に、イギリス軍と協力して、国民軍に「最後通牒」をつきつけ、北京から撤退させた。

この外国帝国主義の干渉に対して、北京では抗議デモが巻き起こった。

ところが外国帝国主義の恫喝におびえた当時の段祺瑞政府は、この愛国反帝国主義のデモ隊に発砲し、死者五〇名、負傷者二〇〇数十名を出す大弾圧を加えた。これがいわゆる「三・一八事件」（一九二六年三月）で、それは上海の労働者学生の抗議闘争に発展した。

まさにそうした動乱と硝煙の軍閥混戦のさなかに西里たちは上海に上陸した。

（以下次号に続く）

8・15
終戦記念日

不戦の誓い 新たに戦争する国づくりストップを



雨の神宮外苑「学徒出陣壮行会」(1943年10月21日)
(http://www.5a.biglobe.ne.jp/~t-senoo/Sensou/gakuto/
sub_gakuto.html)より



新宿駅で核兵器禁止条約発効を記念し、政府に批准を求める宣伝行動(赤旗写真部提供)

コロナ危機打開、いのちを守る政治を

8月15日は、当時の天皇制政府がポツダム宣言を受諾して連合国に無条件降伏した日です。また今年には日本国民310万人、アジア・太平洋各国で2000万人以上の犠牲者を出した「15年戦争」の終戦から76年です。

憲法9条は、「二度と戦争をしないと誓いました。しかし、自民党政府は、秘密保護法、安保法制(戦争法)、「共謀罪法」、土地規制法と「戦争する国づくり」の道を突き進んでいます。菅首相は「改憲の機運が確実に高まっている」と9条改憲を狙って、「改正国民投票法」を「押し進めました」。

市民と野党の共同で政権交代を

東京都議会議員選挙は、コロナ禍のもてでの五輪開催の可否が争われました。自民・公明両党は自ら掲げた過半数(64議席)に及ばず大敗北しました。立憲

民主党と日本共産党は定数1、党が前進しました。2人区と3人区の一部で候補者調整を行い、一本化した12人(立憲民など7人、共産5人)が当選しました。野党が共同し立憲野

今秋までに行われる総選挙で「市民と野党の共同」で政権交代を実現させ、憲法をいかに政治をすすめてまいりましょう。

新型コロナウイルス感染症対策を最優先にした政治を

コロナ感染症が急拡大するなか、入っても収束を見通せないどころ多くの国民と専門家の中止の声を聞かずオリンピック・パラリンピックを強行しました。感染が2年目に

接種とPCR検査をセットで行ない、感染を抑え込むべきです。

核兵器禁止条約が発効。戦争被爆国日本は直ちに批准を

核兵器禁止条約は国連総会で採択され、今年1月22日に発効しました。唯一の戦争被爆国である日本では、広島や長崎をはじめ多くの国民

の願いに反して日米同盟を優先し、批准に背を向けたままです。1日も早く批准するよう政府に迫っていきましよう。

治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟とは

戦前、戦争に反対し平和と民主主義を求める多くの人々が治安維持法で弾圧され、警察、刑務所などで虐殺された人や獄死者は500人以上です。政府は犠牲者へ一切謝罪も賠償もしていません。私たちは、不戦の誓いをあらたに、ふたたび戦争と暗黒政治を許さないというとりくみをすすめて、治安維持法犠牲者の名誉回復と国家賠償を求めています。貴方もぜひ人會して運動にご参加ください。

治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟中央本部

〒113-0034 東京都文京区湯島2-4-4 平和と労働センター・全労連会館内
E-mail: chan@bz03.plata.or.jp
TEL: 03-5842-6461 FAX: 03-5842-6462

治安維持法犠牲者国賠同盟熊本県本部

熊本市中央区神水1-30-7 「モン神水内」
電話・FAX 096-381-1807

ものがたり

100年前、権力に抗した一人の少女に、今私たちは何を感じるのか

「朝から晩まで働いても、満足にご飯が食べられない貧しい人たち、一方では贅沢をしている人たち……。この不公平な社会をなんとかよき社会にしたい……」

時は明治・大正末期から昭和初期の激動の時代。天皇の絶対的専制政治のもと、国民は「天皇の臣民」とされ、貧困と無権利状態におかれていました。

千代子が東京女子大で学ぶ頃、稀代の悪法「治安維持法」が公布され思想言論弾圧がますます激しくなります。

千代子は、故郷の長野で製糸工場の大争議を通じ、労農党の浅野晃と知り合い、結婚。大争議を浅野とともに支援します。

そして日本共産党と共同戦線を組んだ労農党が初の総選挙で大躍進。その躍進を恐れた支配層は28年3月15日の大弾圧を加えます。千代子は検挙され激しい拷問を受け刑務所へ送られますが屈せず、獄中のリーダーとして侵略戦争に反対し、主権在民、ジェンダー平等の社会をめざして志を貫きました。

しかし、同志であり最愛の夫である浅野晃の変節と裏切りを知り、非人間的な刑務所での扱いもあって千代子の身体と精神は徐々に蝕まれていくのでした……。

わが青春つきるとも

— 伊藤千代子の生涯 —

原簿・原典：「時代の証言者 伊藤千代子」藤田廣登（学習の友社・刊） 桂 壮三郎 監督作品
 企画・プロデューサー：桂 壮三郎 ラインプロデューサー：山崎 勇 脚本・監修：宮崎秀夫 撮影監督：田宮健郎 アシスタントプロデューサー：平沢清一
 音楽監督：渡部 篤 監修：山谷朝明 監演：小野寺昭洋 制作監修：星 亨之 キャスティング：石井美保子 弁士：おかもと桂雲 ヘアメイク：頼みみ
 制作協力：アトリエ藤野 製作：映画「伊藤千代子の生涯」コーポビジュアル企画

2021年 秋ラインクイン
 2022年3月 完成



竹下 景子
 (実行役)



斎藤 俊介
 (演出)



金田 明夫
 (土屋文明)



新人・井上百合子 (伊藤千代子)



石丸 隼二郎
 (相高)



嵐 圭史
 (老人)



印南 暎
 (原村昭彦)



角田 南晃
 (原田千代子)



田上 暎
 (原田千代子)



平田 暎
 (伊藤千代子)



榎澤 名子
 (宇山あけみ)



曾川 三子
 (原 昭雄)



伊藤 千代子
 (原 昭雄)



賛助団体 治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟 日本国民救済会 日本婦人団体連合会 婦人民主クラブ 新日本歌人協会 全日本年金者組合
 全日本年金者組合京都本部 全日本年金者組合福岡支部 宇治・長野・大阪・東京各山宣会 (2021年4月現在)

chiyoko-cinema.jp



製作協力券(「前売り券との引換券」)普及にご協力ください

熊本県では2022年春に、熊本市や人吉市をはじめ少なくとも3か所以上で上映することをめざし、その上映の際、「前売り券(1,300円)」と引き換えできる1枚1,000円のチケット(前売り券との引換券)を作成し、販売しています。
 多くのみなさまの普及協力、ご購入をよろしくお願いいたします。

〈問い合わせ〉 治安維持法同盟熊本県本部 熊本市中央区神水 1-30-7 ☎&Fax096-381-1807

(事務所がつかない場合は)

090-5380-9451 (小田) または 090-1366-5004 (関根) まで